

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者: L 山蔦、入江

2. 山域/ルート: 北アルプス 屏風岩 雲稜ルート

3. 交通手段: 自家用車

4. 行動記録: 2022年5月27日(金)ー29日(日)

- ・5月27日 6:00 神戸出発→11:30 あかんだな駐車場 11:50 バス→12:25 上高地 13:00→15:30 横尾 (横尾山荘泊)→徒渉点確認・お試し徒渉・荷物デポ
- ・5月28日 4:00 横尾山荘出発するも雨で戻る→5:30 横尾山荘再出発→7:30 T4 尾根取り付き 9:10→T4尾根→10:10 T4テラス(雲稜基部)10:35→12:15 扇岩テラスフォロー到着→12:50 3pピッチ目リードスタート→13:10 リード 3P 終了点到着→13:30 フォロースタート→14:20 下降開始→15:15 扇岩テラス→16:00 T4 尾根基部→17:10 徒渉点→18:00 横尾
- ・5月29日 7:00 出発→7:50 徳沢(朝食)→10:30 上高地→帰神

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

・時間切れとなり3ピッチ目で終了。

b) 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか？

・特になし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

・特になし。

6. その他、ルートに関する情報・感想など

・この時期の雲稜ルートは落石が激しく、大変危険。

・徒渉は膝下程度でウェーダーが活躍した。

・横尾山荘はお風呂は石けん類は使えないが、シャワーもあり汗をながして浸かるだけでもさっぱり気持ちいい。

・2日目の夜は時間が読めないため自炊にしたが、食材を入れる冷蔵庫貸し出しサービスがなく、4Lの氷を持って行ったが(ツタさんひとりで可愛そうに4人分の食材とともに)、2日目なのにまったくとけておらず、逆にすぐとけず鍋を作るに時間がかかった。この時期保冷剤は少なめでOK。

【山蔦】 ※注釈: この感想文はもうひとつ所属している三峰山岳会用に作成したものを転用。

モートー！(※三峰の合い言葉)

三峰の皆さんご無沙汰しています。

この3年で入会された皆さん、初めまして3年前に神戸への転勤で関東を離れたヤマツタです。よろしく願います。

また遠方から遊びに来ていただいた皆さん、ありがとうございました。この場をかりて御礼申し上げます。

げます。

岩のライングループやイワツバメで三峰山岳会の活躍に触れ、良い刺激をいただいています。

本題に入ります。2月ごろの出張帰りに神戸に寄ってくれた西村さんに声を掛けてもらい屏風岩の雲稜ルートに行くこととなりました。当初は二人で計画していたところにガッチャンと神戸の山仲間Iさんを加え4人、三峰と神戸労山の2パーティで臨みました。

金曜から月曜の3日の日程で横尾山荘泊、土曜アタックの計画でしたが金曜昼までの結構な雨予報。前日の昼から晴れれば問題ないって？駄目なんです横尾谷の渡渉があるんです。ただでさえ雪解けで水量の多いこの時期の雨は鬼門。行ってみて駄目でした～は避けたかったのでギリギリまで迷いましたが西村さんの後押しで吹っ切れました。

金曜の昼に雨が上がったばかりの上高地で三峰の二人と合流、Iさんとの自己紹介を済ませ横尾に向かいました。なぜか私のザックは千秋さんに10年以上前にもらった90L、渡渉用のウェーダーやら鍋の具材と4キロの氷付き。一人遅れながら3人の後を必死で追いました。重かった～。横尾から20分ほどの岩小屋跡から一般道を逸れて横尾谷の河原に入りました。1ルンゼ押出の15Mほど下流に狙いをつけ胸までのウェーダーをまとい渡渉。OK！荷物をデポして山荘に戻り18時、ご飯を食べて、お風呂に入って翌日に備えます。

4時に一度出発しましたがパラパラと来たので一旦撤収、1時間半の二度寝の後再度スタート。6時に渡渉、1ルンゼの上はアイゼンを効かせて7時半T4基部に到着。この時期はアイゼン要りますよ。1ルンゼ最奥からT4に向けて大きな自然落石があり丁度取り付き辺りに襲いかかります。時間掛けずにスタートするのがオススメです。T4末端から左に少し上がったところのリングボルトが取り付き。かなり雪が多く取り付き特定に時間を掛けていると後ろから来たパーティに先を譲ることになりました。(実はこのPも神戸労山、日程かぶりは偶然です。)8時半登攀開始。小さく右上から直上、立派な支点まで短いピッチ、2Pは左のスラブ樹林帯の木で切ります。ロープを畳んで屏風基部まで尾根歩き。簡単とは言え岩場なので気をつけて。

10時半屏風基部着で11時半1P目スタート、Iさんとガッチャンの女性二人がリードです。50Mロープほぼ一杯の長いピッチ、5.7?もっと難しく感じました。5.9かな?焦らずにレストするのが良さそうです。核心は小ハングでピナクルテラスが終了点。

2P目、ヤマツタ、西村リード。小さく右上しフェースに入るところが核心。鎧使っちゃいました。最終のガッチャン回収できず、痛恨の残置です。(帰りの懸垂の時に神戸のPに回収してもらいました。)今回一番痺れました。その後は右上を続け左上するルンゼに着いたら一安心。

3P目、屏風の代名詞、鎧ルートです。ツルベでIさん、ガッチャンいきます。二人共練習の成果が出ています。問題なくかけかえます... つまらない... 私もセカンドで登ります。直上した終了点は左ハーケン、右錆びたリングボルト。古いステ縄が4本ほどかかっていますがオススメ出来ません。直上の終了点からは見えませんが右上3Mにしっかりとした懸垂支点があるので3P目はここまで伸ばした方が良いでしょう。

カンカンカン、ここでタイムアップ14時20分懸垂下降スタートです。西村さんは3P取り付きで寝てます。

3pダブル懸垂、大テラスダブル懸垂、屏風基部歩き、シングル懸垂、T4樹林帯ダブル懸垂でT4基部到着。落石には気をつけて。

渋滞もあり、上まで行けませんでした。残念！次に行くときは頭まで抜きたいと心に誓いました。

【入江】

思えば2021年6月が私にとってのマルチピッチクライミング元年だった。

2021年6月の谷川の一ノ倉沢奥壁南稜から始まり、会に入って何年も天候不良等で行くことができなかった御在所岳前尾根、小豆島の拇岳に経験者に同行してもらわず初トライできた。その後も宮崎の雌鉾岳や小川山の左稜線などトライしてきた。

そうしていると今年の3月に入ってから思いもかけずツタから屏風の雲稜に行こうと誘われた。私が行けるようなところではないと眼中にもなかった場所だ。私がそんなところに行けるのだろうか??といつもなら行く行くと即答するところを、躊躇した。でもこんな機会なかなかない! 頑張ってきたご褒美と思ってトライすることにした。

それからは必死に練習をこなし。土日はすでに山行予定が入っていたので、平日休んでツタと練習し、出勤前に烏帽子で朝トレ(あぶみ)したり。4月後半の沢では怪我をしたけど、痛いのをこらえて練習を続けた。そんな感じで頑張っただけに、今回は雲稜ルートを予定の5ピッチまで行けなかったのが

とても残念だった。

また機会があればトライしたい。

でも今回屏風に向けての練習で井谷さん山本さんに雪彦正面壁に連れて行ってもらうなど、いままでにでないいろんな経験ができたのことはとても良かった。

三峰の西村さん、がっちゃん、ずっと行動が同じで心強かった井谷さんパーティーのみなさま、ツタさん、ありがとうございました。

